

港区立芝浦小学校  
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通し、「話す・聞く能力」が平均を下回っている。</li> <li>・「書く能力」では、個人によって大きく差が見られる。型にはめて書くことができるのは多いが、自分の考えが明確になるように書くことが難しい児童が各学年一定の割合でいる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎どの学年も、ほとんどの観点において、概ね平均値を上回っている。</li> <li>◎特に「観察・資料活用の技能」の観点においては、全ての学年が区の平均を上回っている。</li> <li>△「社会的事象についての知識・理解」の観点においては、第4学年が平均を下回っている。</li> </ul>
算数	<p>「平均」という見方で見るとほとんどの学年で平均以上と言えるが、個人差が大きく、個別に対応する児童への対応の仕方が課題であると考えられる。</p> <p>全学年、全児童の関心・意欲を高めていく必要がある。</p>
理科	<p>どの学年でもほとんどの観点において、全国平均や区の平均を上回るか、概ね同等となっている。基本的な学習内容はしっかりと定着できている。</p> <p>技能に関する内容項目について、やや課題がある。実験結果は理解しているが、実験の方法や器具の使い方などを十分に理解できていない児童が多い。</p>

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を受け止め、自分の考えを伝えることのできる資質・能力を向上させる。</li> <li>・国語の各単元で、書くことの活動を充実させ、自分の考えを書く能力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す・聞く」単元だけでなく、朝のスピーチなど、人前で話す機会を学級の中で全員がなるべく多くもてるようにする。また、話を受けて質問をし、その活動に対し教師がフィードバックを行うようにする。</li> <li>・「書く」単元では、型を提示し、C評価の児童も書くことの達成感を味わい、積極的に書くことに取り組めるようにする。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>「社会的な見方・考え方」を働かせ、課題を迫及したり、解決したりする資質・能力を向上させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年では、資料から分かったことと考えたことをノートにまとめる活動を行う。</li> <li>・高学年では、文章、写真、地図、年表など様々な資料に触れる時間を設け、考えたことを記述させることで表現力を高める。</li> </ul>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を振り返り、分かったことを日常生活や今後の学習に生かそうとする態度を育成する。</li> <li>・学習意欲の向上を図る。</li> </ul>	<p>どのクラスもノート指導を徹底し学習感想を書く時間を設定する。自己を振り返り、どのような学習ができたのかを明らかにし、身に付けた能力をどのような場面で生かすことができるのか、新たに疑問に思ったこと、さらに学習を深めたいことは何かという視点を加えて学習感想を書くよう指導する。模範となる児童を全体の場で称賛したり、紹介したりする。これらのことを遂行することで、学ぶことの意義を高め資質・能力の向</p>

	<p>上を目指していく。</p> <p>また、子供たちが自分から課題を見いだせる授業を目指していく。教師主導ではなく、子供から解きたいという気持ちを引き出せるよう、提示の仕方を工夫したり、日常の場面を設定したりするなどの手立てを用意し、学習意欲向上に努める。</p>
--	---

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の力を養う。</p>	<p>○観察・実験の方法や器具・機器の使い方を目的に応じて扱うことができるようにする。</p> <p>○理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行っていく。</p> <p>○大規模校であることを生かし、SA（サイエンス・アシスタント）や学年間で指導法や必要な情報を共有していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を通して、自然の事象やもののしくみなどについて知ったり、ものなどの扱い方に関する技能を身に付けたりしようとする姿勢。</li> <li>活動しながら工夫を重ねたり、友達との関わりから情報を得たりして、自分なりに考えながら進めていこうとする姿勢。</li> </ul> <p>生活科をはじめ、様々な活動の経験から、充実した毎日にしようとする態度。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の知りたいという気持ちを大切にして、活動を組み立てていく。</li> <li>観察カードや見つけたよカードなど、文字や絵で表現する活動では、振り返りの話し合いの場を設定することで、表現する内容を自分なりに明確できる活動の流れにする。また、国語の学習との関連で、豊かに表現できるようにしていく。</li> <li>本校では、『きょうだいさん活動』として1年生と2年生の1人対1人の組み合わせを設定している。この『きょうだいさん』を活用して、発表するとき具体的に発表する対象を意識できるようにしている。</li> <li>植木鉢による栽培活動、飼育かごによる虫などの飼育活動にも積極的に取り組み、日々世話をすることで生き物への愛情を育むようにする。</li> </ul> <p>日常的に作って表現したり、書いて描いて表現したりする活動を充実させるために、教室に画用紙や色紙、リサイクル用紙、マジックやテープなどの用品置き場を設置したり、空き箱やトレイなどの素材をストックして活動できる場を設定したりする。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。</p>	<p>歌唱の活動では、音の重なりを感じて合唱できるよう発声の仕方を指導しながら、必要に応じてペア学習やグループ学習を取り入れる。器楽の活動では、まず楽器を大切に扱うことを指導する。重なり合う楽器の響きを感じて合奏しながら、演奏と静けさの余韻を楽しめるようにする。</p>

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	色や形との関りから、自分のイメージをもてるようにする。  活動を通して、発想・構想の能力や創造的技能、鑑賞の能力を高め豊かな情操を育てる。	題材のねらいを明確にし、どのような造形要素（色・形・マチエール）に児童を関わらせるかを考え、きめ細やかに準備をする。  活動の過程で、児童一人一人が発揮している資質・能力を、写真記録・見取りメモ・児童のコメントカードなどを活用して丁寧に見取り、承認・評価する。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	家族や家庭，衣食住，消費生活や環境などについて，日常生活に必要な知識・技術を身に付け，生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成	衣食住や家族の生活などの家庭生活に関する内容を、調理，製作等の実習や観察，調査，実験などの実践的・体験的な活動を通して，実感を伴って理解する学習を展開する。実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れていく。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	運動や健康に関する課題について、主体的・対話的で深い学びを通して、進んで解決できる児童の育成を目指す。	・児童が自己の課題を把握し、課題解決できるようにするために、毎時間ねらいと振り返りを行っていく。 ・学習カードを活用することで、自己評価と教師からの評価を明確にしていく。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・国際科の授業を通し、世界の言語や文化に興味をもち、かかわろうとする姿勢を育む。 ・英語の語感を養い、学んだ文や言葉を表現する力を育む	・歌やチャンツ、フォニックスを取り入れ、英語の音とリズムを体にインプットさせる。 ・NT と連携しながら、授業の中で外国の文化や習慣を児童に伝えてもらうスモールトークを定期的に行う。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通	・指導観を明確にし、発問を精選することで児童から多様な考えを引き出す。また構造的な板書を意識して、学習を終えた後に児童が振り返られるようにすることで実践意欲を高めていく。 ・展開後段では自己を見つめる時間をしっかりとり、自分の経験やその時の感じ方、考え方と照らし合わせながら、

	して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	更に考えを深めていけるようにする。
--	----------------------------	-------------------

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団の中で課題発見、実践、振り返りなどの活動を通して、人間関係の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に学級会や、縦割り班活動を行えるような時間を確保していく。</li> <li>・ 学級会コーナー等を設置し自分たちで見通しをもち、計画、運営ができるようにしていく。</li> <li>・ 各行事や学級活動の振り返りを行い、次への活動に意欲をもたせていく。</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<p>固有な見方・考え方を働かせて、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 探究的な見方・考え方を働かせる</li> </ul> <p>【1 課題の設定 2 情報の収集 3 整理・分析 4 まとめ・表現】の探究の過程を経由する学習方法を指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横断的・総合的な学習を行う</li> </ul> <p>学習の対象や領域が、特定の教科等に留まらず、横断的・総合的になり、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に取り組ませる。</p>